

科目コード 201250

学科 学年	E1	科目 分類	図学 製図 [図製] Drawing & Drafting	講義 必修	通年 2単位	学習教育 目標 D	担当	富川 和人 TOMIKAWA Kazuto
概要	本来立体的 (3次元) なものを平面の図面 (2次元) にあらわすために, 必要な作図法や投影法を学習する。自分の意図するものを見る人に誤りなく伝えるために, 規格に従って正しく明りょうにかき表す表現方法を, 講義と実習により習得する。							
科目目標 (到達目標)	日本工業規格に基づき製図に関する基礎的な知識と技術を習得し, 製作図 設計図などを正しく読み図面を構想し作成するための基礎能力を育てる。							
教科書 器材等	教科書: 「電気製図」, 小池敏男ほか6名著, 実教出版 練習ノート: 基礎製図練習ノート, 長澤貞夫ほか2名著, 実教出版 ・自作プリント							
評価の基準と 方法	定期試験 3回の成績を40%, 適宜行う実習課題の成績を40%, 受講態度を20%として評価する。60点以上を合格とする。再評価は, 次年度に課する製図実習課題により評価する。							
関連科目	数学							
授業計画								
第1回	製図の必要性、製図用具							
第2回	製図に使われる線の形・太さと, その実習							
第3回	製図に使われる数字・文字と, その実習							
第4回	平面図形と, その実習							
第5回	投影法 投影図と, その実習							
第6回	正投影図 等角図と, その実習							
第7回	定期試験							
第8回	情報伝達手段としての製作図の意義							
第9回	図示の方法, 線の用法, 図形の選び方							
第10回	特殊な図示方法, 省略図, 断面図と, その実習							
第11回	尺度・寸法記入方法と, その実習							
第12回	寸法公差・はめあいの表示法と, その実習							
第13回	表面あらさの表示法と, その実習							
第14回	幾何公差と, その実習							
第15回	定期試験							
第16回	図面のつくりかた・かきかたと, その製図実習							
第17回	図面のつくりかた・かきかたと, その製図実習							
第18回	機械の要素, ねじのあらわし方							
第19回	ボルト, ナット, 小ねじ, 止めねじと, その製図実習							
第20回	キー, ピン, キー溝のあらわし方と, その製図実習							
第21回	軸継手, 軸受と, その製図実習							
第22回	歯車, Vプーリ, ばね, 溶接の図示法							
第23回	定期試験							
第24回	ハンドル部品製図実習							
第25回	平歯車製図製図実習							
第26回	平歯車製図製図実習							
第27回	フランジ形軸継手製図実習							
第28回	フランジ形軸継手製図実習							
第29回	フランジ形軸継手製図実習							
第30回	CAD製図 CADシステムの概要							
オフィスア ワー	授業のある日は, 授業開始 30分前には講師控室にいるので, 学生は質問時間に使って欲しい。							
備 考	本授業に関する質問は, 次のメールアドレスでも受け付ける。 tomikawa.kazuto@toshiba-machine.co.jp							